

第16回 REAAA道路会議 「片平賞」 受賞のお知らせ

この度、第16回 REAAA道路会議（※）において、株式会社高速道路総合技術研究所と当社が共著した技術論文が「片平賞（First Prize）」を受賞しました。受賞論文は「EXPERIMENTAL DEVELOPMENT OF NEW TEST METHOD FOR EVALUATING INTERLYER BONDING PROPERTIES OF ASPHALT PAVEMENT CONSIDERING PORE WATER PRESSURE」（間隙水圧負荷によるアスファルト舗装の層間接着性を評価する新しい試験方法の実験的開発）で、株式会社高速道路総合技術研究所の竹林宏樹様と高橋茂樹様、および当社の馬場弘毅と近松稔之が共同で執筆にあたりました。

片平賞は、REAAAの5代目会長を1983年から1986年まで務めた故・片平信貴博士を記念して1991年1月に創設されたもので、道路の開発やその関連技術の推進・進歩に貢献した専門家を表彰するものです。40歳未満の若い専門家を対象に、道路工学に関連する優れた技術論文の著者に授与されます。

※：REAAA（アジア・オーストラレーシア道路技術協会）主催、フィリピン公共事業道路省およびフィリピン道路技術協会の共催で、2021年9月13日から15日にWeb形式で開催。



以上